

ける本社通信の野田全町に配布したるを以て小泉以下幹部は全く絶對絶命となり遂に自暴自棄となりたるものか、俄然十數名の幹部は會社に押しかけ表立關に於て決闘を申込み折柄出でたる秋谷、森外二名の社員に對し先づ小泉眞先きとなり暴言暴行を働き遂に兩名の内股に重傷を負はせる殺傷を演じ大騒ぎとなり時を移さず野田署長以下係員急行幹部全部を檢舉し目下嚴重に取調中、これに付き消息通の語る所によれば

最早や自分等の罪惡は暴露したるを以て爭議團員をあざむき且つ又た總同盟をもあざむきたる事明白となりたるを以てやけくその無茶を行ひて事件の結末をつけ己れの自殺行爲を以て身の處分をつけんとしたるもの、まことに自業自得とは言ひながら勞働爭議の幹部と稱するもの、一部の手本とすべしこの一事を以て近頃日本の勞働爭議の惡ブローカーの如何に社會に對し罪惡を流しつゝあるかを表明したるものとすべし云々

因にこれにて野田爭議も結末を付け團員は續々と